令和８年 第２回定例会で意見が分かれた議案の採決

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
議案番号	議決結果	明島章也	小田原あや	寺沢佳洋	松本添花	日向栄司	井上修一	末続浩二郎	酒井光則	田中次廣	髙木和恵	吉田幸一郎	林田久富	松永忠次	小嶋光明	黒岩英雄	田中克彦
同意第１号	不同意	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
同意第２号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	○	×	×	○	○
議案第37号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第38号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第40号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第50号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

○：賛成　×：反対　―：除斥

賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

【議案第37号】南島原市原城跡世界遺産センター条例の制定について

〔反対討論〕世界遺産センターの建設について、これまでも懸念を示して反対してきた。今回の条例制定についても、質問回数の制限により、慎重審議ができなかったので、後日、担当者に詳しく説明を求めた。以前は、指定管理制度を予定していたものの応募がなく、市の直営となったと聞いた。入館料収入として約３千万円を見込んでいるが、運営自体は市がして、ガイダンスの管理は観光協会に委託をし、樹木の剪定は入札を行うとなると、維持管理費が３千万円を超えるのではないか。この世界遺産センターには初めから懸念を持っていたが、観光客が14万人来る前提で、記念館を廃止して、移転するとのことだったので、私はどうしても納得がいかない。

〔賛成討論〕維持費や14万人など、最初に数字を上げて想定されることは確かに非常に大事だと私は思う。そのような中で、この施設に対する市民の意見は、１００％反対ではなく、私の耳には賛成という意見も届いており、市の目玉の施設にするために、一旦この条例を制定して、14万人と言わず20万人30万人と集めるような施設になるための考えを持って行えればと思う。否定することも大事だが、前を向いて、市のため、発展のために考えていきたいと思う。

【議案第38号】南島原市有馬キリシタン遺産記念館条例を廃止する条例について

〔反対討論〕来年３月に世界遺産センターが開館すればキリシタン記念館の条例は廃止になると思うが、何で今上程されるのか。まだ記念館は現在あるので、今、この条例を廃止することには私は反対である。

〔賛成討論〕９月１日提出のこの条例は令和８年12月29日から施行するとなっている。この後、展示品等の移動や整理する時間が来年３月まで３か月間は必要だと私は認識しているので賛成する。

【議案第50号】令和８年度南島原市一般会計補正予算（第３号）

〔反対討論〕２点挙げて反対したい。一つは世界遺産センターの予算が上がっているため反対。もう一つは、安心な医療体制の確保推進事業について、令和７年度から始まった事業であるが、なぜ、当初予算に上がっていなかったのか、納得できる説明がない。今後も継続した補助金であるか分からないが、なぜ今回の補正でこの補助金だけの計上なのか、その辺で納得していない。

〔賛成討論〕令和８年度一般会計補正予算第３号は、補正額５億６，９７８万５千円を追加し、補正後の一般会計総額を３３７億４，００３万円とするものである。前年度と比較して6.5％減の緊縮傾向にありながらも、物価高騰に直面する市民生活へ地域基盤環境、教育環境の整備、そして未来を見据えた健全な財政規律の堅持の３点を高い次元で両立させた適正な予算構成となっている。

なお、本補正予算の執行に当たり、今後の持続可能な自治体運営の観点から、以下の３点について配慮を徹底していただくことを強く要望する。一、経済施策の効果検証と市民生活への普及。二、公共施設改善における予防保全型への移行。三、将来を見据えた、積立てルールの明確化。以上、本補正予算は、健全な自立財政の自律を堅持しながら、住民福祉の向上と地域経済の活性化を確実に舵取りするものであり、早期執行が必要不可欠であると確信している。

全国市議会議長会表彰および九州市議会議長会感謝状

議員表彰20年以上

吉田幸一郎議員が市議会議員として、20年以上にわたって市政発展にご尽力されていることに対し、全国市議会議長会の特別表彰を受賞されました。

また、九州市議会議長会の監事を務められたことにより感謝状を授与されました。

９月１日議場において、中村議長より伝達表彰が行われました。



Training Report

《長崎県市議会議員研修レポート》

８月21日、長崎県市議会議長会主催「地方議員のための安全なSNS発信と生成AI活用」と題した議員研修会が開催され、県内の市議会議員約250名が参加しました。（本市からの参加者は議員10名）

講師は議会事務局実務研究会会員で三重県鳥羽市職員の北村純一氏。地方議会で初めてSNSを導入し、本会議や常任委員会等のライブ配信を行い、議会を「見える化」した第一人者です。


〈市議会議員研修会〉

研修内容は、議員のSNS及び生成AIの不祥事例の分析と教訓、SNSの特性や炎上対応、投稿時の注意点など議員として必要最低限知っておくべき内容ばかりでした。

また生成AIの活用例として、ひとつの考えに対して視点を変えた多角的な意見の提案、質疑の論点整理、議事録の文字起こしや要約などが挙げられていました。しかしながら、どんなに優れたAIであっても方言への対応はまだまだ難しいようです。